

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 74》2019年4月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【姫島村/日出町】



(姫島村)
千人堂



(姫島村)
姫島灯台



(日出町)
日出城址



(日出町)
城下かれい

大分県海外戦略(2019～2021)を策定しました

大分県では、平成27年10月に策定した「大分県海外戦略(2015～2018)」の計画期間が最終年度を迎えたことから、新たに2021年度までを計画期間とする次期戦略「大分県海外戦略(2019～2021)」を策定しました。

本県の海外施策の取り組むべき方向性を示す羅針盤である次期戦略の策定にあたっては、企業経営者や有識者等海外戦略アドバイザーから、多くの助言・提言をいただきました。今後は戦略に基づき、海外ネットワークづくりを始め、県産品の輸出促進、海外誘客、外国人の受入れ環境整備、県内企業の海外展開支援等を関係者と一体となって取り組んで参ります。

具体的には、東アジアに加え、ASEAN諸国への農林水産物や加工品等の輸出強化などを図ります。さらに、ラグビーワールドカップ2019等のビッグイベントを契機とした欧米・大洋州などの新たなマーケットの開拓にも取り組みます。

また、留学生OBなど大分ゆかりの人のネットワークを構築し、県内企業の海外との技術・サービス交流及び海外展開支援を図り、急増する外国人観光客や、入管法改正により今後増加が見込まれる在住外国人に対する受入れ環境整備を行っていきます。



(昨年9月に開催された海外戦略アドバイザー会議の様子)



皆様には引き続き、県海外戦略の推進にご協力をよろしくお願いたします！

「大分県海外戦略(2019～2021)」本文は大分県庁HP内で閲覧、ダウンロードができます。

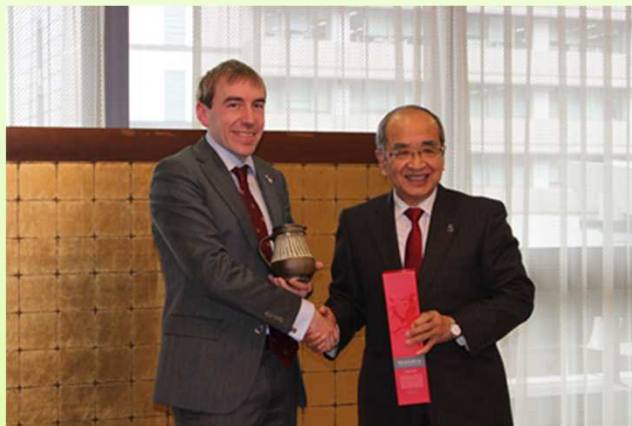
<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/kaigaisenryaku2019.html>

ウェールズ政府日本代表が知事を表敬されました

2月27日に、ウェールズ政府日本代表事務所のロビン・ウォーカー代表が来県され、知事を表敬し就任の挨拶をされました。

今年本県で開催されるラグビーワールドカップのウェールズ戦に向けて、「Go Go Wales!!!」と応援してもらえたら嬉しい、またラグビーを契機に本県とウェールズとの交流を深めていきたいとお話がありました。

表敬訪問後は、ラグビーワールドカップ期間中のウェールズPR活動に向けた打合せのため、県内の百貨店、ホテルを訪問されました。これからラグビーワールドカップに向けて、ウェールズの国名を目にすることが多くなると思いますので、応援をよろしくお願いします！



おおいた留学生ビジネスセンター 「みらいの社長塾」の報告会を開催しました

おおいた留学生ビジネスセンター(SPARKLE)では、平成30年度からの新規事業として、留学生が大分県の地域資源(観光、酒、農林水産加工品)について知り、収穫や酒造りなどの体験を通して、将来の起業に向けて実践的に学ぶ「みらいの社長塾」を実施しています。

今年度のまとめとして、3月13日に大分銀行宗麟館でビジネスプランの発表会を行いました。留学生が大分に住み、大分を知り、そこから考え付いた「大分に根付いたビジネスプラン」を発表していただきました。参加者からは厳しい意見もいただきましたが、更なるブラッシュアップに向けたいい機会となりました。来年度は、ここで発表したプランの実現に向けて、更なるバージョンアップを目指します。



国際交流員が国際理解講座を実施しています

「キッズ国際交流」

2月5日に県の国際交流員4名が、大分市ののだ山幼稚園で「キッズ国際交流」を行いました。今回の対象は年長クラスで、91名の園児が4つのクラスに分かれ、中国、韓国、イギリス、オーストラリアの交流員がそれぞれのクラスの先生になり、母国語でのあいさつやゲームで交流を行いました。

交流員にとって初めての園児に対する交流活動なので、最初は緊張していましたが、園児たちの積極的で純粋な反応ですぐに打ち解け、母国語でのじゃんけん、韓国版「だるまさんが転んだ」、英語版の「ハンカチ落とし」などのゲームやパンダのミニ講座などで大いに盛り上がりました。



「国際理解講座」

2月25日に国際交流員4名による国際理解講座を竹田南高校で開催しました。同校での国際理解講座は昨年6月に高校3年生を対象に行ったのに続き2回目です。



今回は高校1、2年生29人にそれぞれの母国である中国、韓国、イギリス、オーストラリアの概要、文化、伝統料理などを紹介しました。また母国の高校生活も紹介し、参加者は日本の高校生活との違いに驚いたり感心したりしていました。母国紹介の後は、4つのグループに分かれて質問やゲームなどをして盛り上がりました。

県内でも外国人観光客や在留外国人が増え、外国人の存在は身近に感じられるようになりました。小さな頃から外国に触れることは将来の異文化理解の促進につながることから、今後もこのような取り組みを行いたいと思います。

方 国際交流員が離任、めじろん海外特派員に任命されました

2018年4月から県の国際交流員として勤務した、方 応梅(ほう おうばい)さんが任期を終え、中国に帰国しました。「めじろん海外特派員」として、帰国後のご活躍も期待されます！

時が経つのは本当に早いものですね。あっという間に桜の開花を迎える時期になります。大分県でのいい思い出を心にしながら離任の挨拶をさせていただきます。去年初めて大分県に来たときに、ここでの生活に慣れるのか、仕事があまくいくのか本当に不安で心配でありませんでした。幸いなことに、この一年間で、生活の面でも、仕事の面でも、上司や同僚などたくさんの方々からお世話になり、任期を無事に終えることができたので、ここでもう一度感謝の気持ちを申し上げます。

大分での一年間は翻訳、通訳の仕事を始め、学校交流、県職員に向けた国際理解講座や海外PR事業など幅広い分野で働きました。外国人として日本の政府機関に務めることは私にとってはチャレンジで刺激にもなるとともに、大変いい勉強になりました。大分県への理解を深めるために、余暇を利用して、大分県の彼方此方を回って大分のいろいろな魅力を体験し、SNSを通して、大分と日本の魅力を中国の人々に発信しました。日本一と呼ばれる温泉県である大分県で暮らした一年間は私の人生でかけがえのない宝物にして、帰国した後も、中日友好の架け橋となって、微力ながら、大分県と中日関係の発展に引き続き頑張っていきたいと思っています。



市町村からのお知らせ【臼杵市】

臼杵市では、本年日本で開催されるラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、国内外からの観光客誘致を図るため、多言語対応可能なスタッフが在中する観光案内所を臼杵駅構内に開設しました。

また、臼杵市を代表する観光地である国宝臼杵石仏を訪れる方へ、スマートフォン・タブレットと連動させた「多言語音声ガイドシステム」サービスを開始しています。こちらは日本語に加え、英語、フランス語、韓国語、

中国語簡体、中国語繁体の6言語に対応しており、各国観光客の皆様により便利に、より詳しく臼杵石仏について理解していただけるものとなっています。ぜひ、多くの外国人観光客におこしいただきたいと考えています。



昨年のバレンタイン直前の2月13日、JR臼杵駅にユニークな看板が登場しました。「うすき」の文字の「すき」の部分にハートのデザインになった「う♡駅」。以前からホームにある「うすき」の駅名案内板の隣に設置されています。全国でも例の無いハートマークの看板は、う♡プロジェクトの一環で設置され、当分の間ホームに設置される予定です。この看板を使って好きな人に告白するもよし、お友達同士で記念撮影するもよし、みなさんもぜひ写真を撮りに来ませんか？

【臼杵市 秘書・総合政策課】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（3月）

News

【3月5日(火)】「プリツカー賞」に磯崎 新氏

建築界のノーベル賞といわれる米プリツカー賞の今年を受賞者に、大分市出身の磯崎新氏(87歳)が選ばれました。磯崎氏は東西の文化を融合させた斬新なデザインで知られています。この賞は優れた建築家に贈られ、授賞理由は「意義深い建築を探求していることが、今日までの作品に反映されている」との事です。県内には大分県立大分図書館(現アートプラザ)など、彼が携わった多くの建築物があります。広瀬知事は、県功労者表彰では最高位で「名誉県民」に当たる知事表彰(特別功労)を贈る意向を示しています。

News

【3月21日(木)】県知事選 告示

任期満了に伴う大分県知事選は21日に告示され、統一地方選がスタートしました。前半戦は知事選と29日告示の県議選、後半戦は9市町村で首長・議員選挙がそれぞれ実施されます。県全域で深刻化する問題「少子高齢化」、「人口減少」にどう対応し、いかに乗り越えていくのかが争点となり、地域の未来にとって重要な選挙になります。

知事選(4月7日投開票)の立候補者は、現職で5選を目指す広瀬勝貞氏(76)と、共産党県委員会書記長で同党新人の山下魁氏(42)、無所属新人の首藤淑子氏(52)の3名です。

News

【3月23日(土)】「別府にお帰りなさい！」市民・学生大同窓会

別府市内の大学の卒業生と在学学生、住民らが交流を深め、地域活性化につなげる「Welcome Back!!! 市民・学生大同窓会」が23日、同市のピーコンプラザで初めて開かれました。目玉行事は地元に着した事業資金獲得のプレゼン大会で、その他にも学園祭をホテル内で再現した催しなど、多彩なプログラムがありました。会場では関連イベントとして、市内外のカレー店34店が一堂に集まる「べっぶカレージャンボリー」が開催され、来場者は別府ならではの国際色豊かな多彩なカレーを楽しみました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

海外大分県人会交流掲示板



ロサンゼルス大分県人会の會田裕二会長からご報告をいただきましたのでお知らせします！

杵築高校の7月のロサンジェルス研修旅行に先立ち、杵築高校の渡辺教頭先生と辛島教諭が当地を訪問されました。

種々訪問先を訪れ、実り多き下見となりました。写真はロングビーチの港灣局とカルフォルニア大学アーバイン校を訪問の時の写真です。(研修は7月21日から10日間の予定です。)



From our Reporters



県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



金 眞雅
(Kim Jina)

先日、竹田市に住んでいるドイツの国際交流員エレナに竹田を案内してもらいました。エレナのおすすめする滝があるということで、さっそく連れて行ってもらったところは知る人ぞ知るという「黄牛の滝」でした。車を止めて渓谷に向けて階段を降りていくと雰囲気が一変していました。苔生した石と木々に囲まれた渓谷はまるでジブリに出てきそうな感じで、すごく神秘的でした。轟轟というすごい音が聞こえてくる方向へ遊歩道を進んでいくと目の前に黄牛の滝が現れました。高さはさほどありませんが、雨が降りだったので水量も多く、かなりの迫力でした！この日は最高気温20度を上回っていて日差しもぼかぼかしていたのもあり、ちょうど涼しくて気持ち良かったです。また、九州三大稲荷の一つである扇森稲荷神社と久住高原、おいしいレストランなどエレナに竹田の良さをたくさん教えてもらいました。



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

日本の激しい夏の暑さと湿度が始まる前のこの最良の時期に大分県の屋外スポットをできるだけ多く見回りたくて、両子寺を訪れました。

私はイギリスの教会文化を中心に育ってきたので、日本のお寺や神社にとっても魅了されています。特に両子寺は見た中で最も印象的な一つであり、お寺の古さ、広さ、そして自然に囲まれていることに感動しました。両子山を散歩しながら、独特の六郷満山文化を垣間見ることができユニークな経験でした。

私は最近、インフルエンザにかかったりして病気に弱いので、一緒にいた人に健康祈願のお守りを買ってもらいました。こんなに壮大なお寺のお守りなら、しばらく風邪を引かないでしょう！



シエ シンラン
(Xie Xin Lan)

日本に来て以来の半年間、いつも繊細な季節の移り変わりを感じられます。秋にはキンモクセイ、冬には梅、毎日香り漂う風を嗅ぎながら町を歩き、季節を彩る花と木々の姿を楽しく観察しています。

大分では刻一刻と変わる日々の光景に名残惜しさを感じつつ、次の季節にも素敵な光景と香りを堪能できますようにことを馳せています。三月になると、川辺と道の端の花壇では水仙がまるで春の訪れを知らせるように咲き誇り始め、ほっこりと微笑みを浮かべます。先日、県庁で県内国際交流員研修が開催され、交流員同士の皆さんとOPAMに寄れば、大分県出身の日本画家の福田平八郎に描かれた『水仙』という作品を観ることができました。近日ちょうど水仙の咲く頃になり、一層趣深いのではないかと思います。



～編集後記～

新年度が始まりました。大分では桜の満開日が昨年より1週間遅く、4月上旬までお花見が楽しめそうです。国際政策課の新体制は、県の人事異動が4月末に行われるため、来月号で紹介する予定です。ラグビーワールドカップ2019の大分開催を半年後に控え、本格化していく準備の模様や、海外各地域との交流、東アジア・ASEAN等海外での大分プロモーションなど、今年度も盛りだくさんの情報を皆さんにお届けする予定です。

(国際政策課長 徳野 満)

県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！
(ツーリズムおおいたHP)
<https://www.visit-oita.jp/>

話題提供のお願い！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！
(様式は任意です)
【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp